

技術を活かすイノベーション・スクール

～業界別ケースで学ぶ新規事業創出ディスカッション授業～



立命館アカデミックセンター

本気のディスカッションで鍛える仕事力!

企業の中核人材である新規事業担当者を対象に、5つのビジネス・ケースを使って実践的なディスカッション授業(=ケースメソッド型授業)を開催します。取り上げるテーマは、ヘルスケア、素材、電子・電気、機械、知財交渉。新規事業の立ち上げに必要な「技術探索」「要素技術」「製品開発」「事業開発」などの知識、スキル、そしてマインドセットなど「仕事力」を鍛えます。

4/10(月)
インターネット
受付開始

定員 各回 30名 最少開講人数15名 受講料 1回 8,000円 (税込)

無料体験 ケースメソッド型授業

5/13(土) 14:30～17:40 (申込締切) 5/7(日)

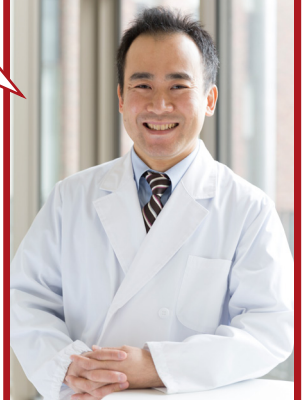
コーディネーターからの
メッセージ

ケース・メソッド型授業とは? 業界別ディスカッション授業 - ヘルスケア編 -

講義概要

ケース・メソッド型授業の受講方法について、日本発の画期的新薬を開発した研究者のロールモデルを描いた「大和ファーマ」というショートケースを用いて、受講者間で輪読とディスカッションを交えて学んでいきます。加えて、続く4回のイノベーション・スクールでディスカッションするケースについて短く紹介するとともに、テック系の新規事業創出を行う際に重要な点を講師とともに受講者間で討議します。

ドッグイヤーともいわれる環境変化の激しい現代においては、自社のみのリソースで新規事業を行うことは非常に難しいと言わざるを得ません。ぜひこのイノベーション・スクールを活用して新規事業創出に重要な方法論、過去の事例を学ぶとともに、受講者間のケース・ディスカッションを通して、新しいネットワークを広げていきましょう!



講師/児玉 耕太 准教授

第1回 6/3(土) 14:30～17:40 (申込締切) 5/24(水)

業界別ディスカッション授業 - 素材メーカー編 -

講義概要

東レ㈱の素材開発を事例として、原料→成型→中間生成材→製品供給などのプロセスを基にした製品戦略について議論します。事例は素材産業を対象としますがこれにとらわれず、他の製品開発一般にも通じる論点を参加者全員で見出していくことが目的です。加えて業界のポジショニングや経営環境の変化など様々な角度から議論を拡げていくことで、技術経営の面白さを実感していただきます。



講師/石田修一 教授

第2回 6/17(土) 14:30～17:40 (申込締切) 6/7(水)

業界別ディスカッション授業 - 電気・電子メーカー編 -

講義概要

㈱パナソニックの「Technics」ブランド開発における商品哲学と技術経営の本質を学びます。ラグジュアリー音響機器の領域では欧州メーカーの「牙城」に切り込むことは高い技術力があっても至難の技です。本講義では、Technics設立者へのインタビューと関連史料をもとにしたオリジナルケースを使って、ラグジュアリーブランド経営と技術経営を融合した高付加価値新商品開発の本質と今後の日本メーカーの戦略を考察します。



講師/崔 裕真 教授

第3回 7/1(土) 14:30～17:40 (申込締切) 6/21(水)

業界別ディスカッション授業 - 知財交渉編 -

講義概要

本講義では、知的財産に関するケースを用いて、模擬交渉を行います。オープン・イノベーションにおいて、他社と協働又は連携する場合、知的財産の問題が発生します。知的財産を活用するためには、ライセンスやノウハウの取り扱いなどビジネス上交渉すべきことが山積しています。本授業を通じて、ロジカルシンキングやディベート能力の養成はもちろん、知的財産を活用するための交渉術を学びます。



講師/小田哲明 教授

第4回 7/15(土) 14:30～17:40 (申込締切) 7/5(水)

業界別ディスカッション授業 - 機械メーカー編 -

講義概要

㈱カネミヤの「ポリ袋自動洗浄処理機(Bun-Sen)」のケースを考察します。同社は様々な壁を克服し新事業の創造に成功しました。参加者は事前に同社ウェブサイトやネット検索によって本事業に関する公開情報を収集し、その資料を自分なりに解釈し、授業に臨んで下さい。このケースは中小企業の新規事業進出の模範的なケースで、示唆に富み貴社に応用が可能なところが数多くあります。奮ってご参加下さい。



講師/名取 隆 教授

■プログラム日程

4/10 [月] 10:00 インターネット受付開始 5/7 [日] 無料体験申込締切 5/24 [水] 一括申込(第1回～第4回) 申込締切

●各回の申込締切前でも定員に達した場合は、受付を終了します。

日程	プログラム	時間	講師	申込締切
5月13日[土]	〈無料〉ケース・メソッド型授業とは？ 業界別ディスカッション授業 - ヘルスケア編 -	14:30～17:40	児玉耕太 准教授	5月7日[日]
6月3日[土]	第1回 素材メーカー編		石田修一 教授	5月24日[水]
6月17日[土]	第2回 電気・電子メーカー編		崔裕眞 教授	6月7日[水]
7月1日[土]	第3回 知財交渉編		小田哲明 教授	6月21日[水]
7月15日[土]	第4回 機械メーカー編		名取隆 教授	7月5日[水]

●最終日7/15は修了式と懇親会(会費制)を開催

●一括申込みの方には、7月末日まで有効の立命館大学の図書館および電子ジャーナルやデータベースが利用できる「図書館特別利用証」を無料交付します。

●一括申込を同一受講者が受講した場合、本講座の最終日に受講修了証書を発行いたします。

■定員

30名
(最少開講人数15名)

■後援

茨木商工会議所
立命館科学技術振興会

■受講料(消費税込)

- [一括申込]… **30,000円**(第1回～第4回)
 - [単科申込]… **8,000円**(1科目あたり)
- ※茨木市中小企業人材育成支援事業対象講座(受講料の1/2補助)

5/13(土)
開催授業のみ

無料

興味のある1科目から無理なく受講できる単科申し込みも可能です。

一括申込に限り「企業枠」での
申し込みを受け付けます！

企業枠とは、企業・団体でお申し込みされる場合に、ご希望に応じ回毎に異なる社員の方が受講できる制度です。例えば、第1回目講義は営業部のA様、第2回目講義は経営企画部のB様…といったように講義に対応した部課の方にご受講いただけます。

※受講される方は、講義日当日、名刺をご持参ください。ネームプレートとして利用します。

■申込方法

受講申し込み

立命館アカデミックセンターホームページから申し込みを行ってください。

<http://www.ritsumei.ac.jp/acr/>



[申し込みにあたっての注意事項]

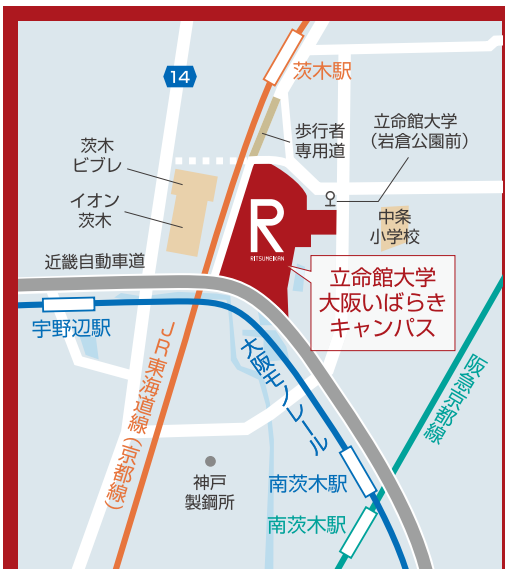
- ◎申し込み後のキャンセル、払い戻しはお受けできません。
- ◎代理受講は認めておりません。また欠席講義の翌年度へのお振替はできません。
- ◎欠席や遅刻に対する返金は一切お受けしません。
- ◎自然災害や交通機関のトラブル、講師の病気など不可抗力な事情により休講や開講日を変更することがあります。事前に休講もしくは開講日の変更が判明した場合は、メールにてお知らせいたします。その場合の受講料の払い戻し、旅費や宿泊費のキャンセル費用などについては補償できません。但し、上記以外の立命館アカデミックセンターの責に帰すべき事由により不開講となった場合は、受講料を返金します。
- ◎本講座を修了しても、立命館大学並びに大学院の単位認定、また文部科学省並びに他の公式機関が認定する単位及び学位の授与は行われません。
- ◎講義の録音・録画、画像のコピー、教材の無断複写および配布はお断りいたします。
- ◎立命館アカデミックセンターでは、「個人情報の保護に関する法律」および「学校法人立命館個人情報保護規程(※)」を遵守し、立命館アカデミックセンターが収集する個人情報は、講座運営や講座分析に関わる業務のみに使用します。また収集する個人情報は、本法律、本規程に則り、漏洩・滅失・毀損等がないように安全に管理します。
※こちらでご確認いただくことができます▶http://www.ritsumeikan-trust.jp/info/privacypolicy/g01_01
- ◎立命館アカデミックセンターは、本法律、本規程に定める場合を除き、個人情報を予め本人の同意を得ることなく第三者に提供することは致しません。
- ◎立命館アカデミックセンターは、個人情報の取り扱いを含む業務の一部を個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結した上で、次の事業者に委託しています。

委託先 株式会社クレオテック(学校法人立命館100%出資会社)

【お問い合わせ先】

立命館アカデミックセンター事務局
〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル14階
TEL:06-6360-4895(平日 10:00～17:00受付) E-mail:acr02@st.ritsumei.ac.jp
※お電話でのお問い合わせは4/3(月)より承ります。

[会場]



立命館大学 大阪いばらきキャンパス(OIC)

〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150

- JR茨木駅より徒歩約5分
- 阪急南茨木駅より徒歩約10分
- 大阪モノレール宇野駅より徒歩約7分